

**旅館などの空きスペースで「ミニショップ」事業を展開**

館やホテル、土産物店、道の駅などで、空いてる物販スペースの提供を受け、商品を展開する方式。同社は販売拡大が図れる一方、提

# 旅館などの空きスペースで「ミニショップ」事業を展開

アクセサリーのめのや、年内に30店目指す

天然石を使つたオリジナルアクセサリーの製造販売を手掛ける(株)めのや(松江市嫁島町、新宮寛人社長)は、旅館などの一角を借り、「ミニショップ」を開設する事業を始めた。ショッピングセンターへのテナント店舗や自社展開のショップに続く「第3の出店スタイル」で、2015年中に県外を含む30カ所での展開を目指す。



売り場に並べる商品は500点以上から選べる



展開する売り場のイメージ写真

供元は賃貸料が入るほか、棚や備品などの設備はめのやが負担するため、初期投資を抑えられる利点があるという。

また、商品の提供や売り場の管理などは同社が行うため、売り場を提供する側は在庫を抱えるリスクはない。陳列する商品は、天然石のチャームやブレスレット、アクセサリー、関連雑貨など500

点以上のの中から自由に選べる。

現在までに島根、鳥取、広

島3県の10施設でミニショッピングを開設しており、さらに年内に20カ所開設するのが目標。営業部卸・ルートチームの宮内伸人課長は「施設の内に20カ所開設するのが目指す。創出や活性化につなげる提案を行つていきたい」と抱負を述べた。